



あ
お
ば
だ
よ
り



Vol. 59
情報管理広報委員会



あおば病院について話しませんか？ By リフレティグ

令和5年去る3月16日土曜日に、第一回「あおば病院について話しませんか」との対話企画が、勤務の都合などで残念ながら参加できなかったスタッフもありながらも、30名程のスタッフにご参加いただき、和やかな場に終わりました。様々な声が優劣なく並べられる場であったこと、それぞれの「私の今までとこれから」について思いを巡らせた時間になったのではないかなあと思いました。私が、印象に残ったこととして、「自分が死ぬ時に周囲にどのように刻まれたいと思うか」など、肩書き、専門職を脇に置きそれぞれの人と出会った一時でもありました。もっと、もっとこのような場が患者さん、地域の方々、ごちゃまぜに話ができる場となるよう続けていけたら、また病院を診療以外で使ってもらえる場になったら、スタッフ自身が自分の話を聞いてもらえる場、それを応援するメンタルヘルス班として、外部に出張できるとよいのではという話もありました。

今回、抵抗があり、参加したいけどできなかったスタッフが、今後安心して参加できる場になるよう続けていければ難しいことでも、また諦めで言葉にならない言葉も安心して話ができる場となればとも思います。安心した対話の中では、不思議と自らの当たり前になっている思考の癖や判断基準に自身が気づかされたり、また新鮮な相手と出会うことがあります。役割、求められていることなど「ねばならない」が優先した思考や行動の時には、なかなか気がつかないことに気づくことがあります。業務の中では、中々、業務に追われ、責任に追われ、会議だって既に方向性の決まっている中で(本来は地域や患者さんのニーズ、求められていることに応えるため、病院の理念の下で行っているものであっても)、その人本来のよさや考え、自然に起こる発想が言えなかったり、行動が取れなくなってしまうこともあります。体の痛みやこわ張りというのは、空気(息)が自由に体の中を流れるのを阻止されていることと関わっているといえます。その人が自分を表現したくても、未だはっきりそうできずにいる状態、当たり前の会話ができない状態で、病気の症状を出している患者さんもあるでしょう。大事な場だからこそ、また時には、このような対話の場があれば、息がしやすく、各々の力が輝き、地域のニーズ、地域の方々との協働の機会になるかもしれません。第二回も開催して欲しいというご意見をいただきました。また、よい季節に開催が出来たらいいなあと思っています。

世話人 臨床心理科 上野麻実

まず、この場にいられたこと、話せたこと、聞いたことに感謝です。

始めに参加者に「呼ばれたい名前」をそれぞれ名札に書いてもらいましたが、誰も役職名を書く方はおらず、「先生」と呼ばれている方が『かわいい名前』を書かれる場面もありました。「小さい頃に友達から呼ばれていたんです」と照れながら懐かしそうに話してくれたその表情からは、その方本来の姿が少し見えた感じがして親近感がわいてきました。しかしそうは言っても、その『かわいい名前』を私も少し緊張しながら呼んだし、そもそも呼ぶことが難しいと言われていた方もいて、普段どれだけその肩書に影響を受けているのか…ということも痛感しました。



また参加者の声を聞いていく中で、役職の方の「ちゃんとしなさい」という組織の役割としての想い、非役職者の「こんなこと怖くて言えない」という悔しい想い、多職種間での心配事など、たくさんの言葉を聞かせてもらって胸が熱くなりました。答えを一つとしない、不確実性に耐える、自分とは違う意見に興味を持って見る…などのキーワードを思い出しながら話を聞いていると、その方に対する見え方が変わったりと、豊かな時間を過ごさせてもらいました。

世話人 リハビリテーション科 田場博子

熊本城マラソンに参加しました！

2024.2.18 昨年度に続き、第11回熊本城マラソンに参加しました。

当日は2月にしては暖かく、とても走りやすい気温の中、『kawaii〜🌸』の応援を受けながら女性陣は楽しんで走ってきました。

そして昼間は夏の暑さまで気温が上昇する中、M次長は42.195km自己最高タイムを更新し、完走されました。

ゴール直前でもさわやかな笑顔です。



第13回 あおば病院 院内学会開催される

去る2月17日、今年で第13回目を迎える、あおば病院院内学会がハイブリッド形式にて開催されました。ハイブリッド形式での開催は今回が2回目で会場参加者22名、リモート参加者57名の合計79名の参加となりました。

院内7部署から様々な観点による発表が行われ、質疑応答の時間では例年以上に活発にディスカッションが行われ想定した時間を押す嬉しい悲鳴。様々な職種の発表者が自由なテーマで、色々な角度から研究・発表、共有できる場でもあった様に察します。

院内学会開催を通し、これまで気付かなかった問題点や、見落としていた点に関する理解をより深めるきっかけにも繋がったと思います。

当日は事前の準備等に於いても不備な点が多々あったと思います。スタッフの皆様のご協力の下、無事に終える事が出来ました。改めて有難うございました。

最優秀賞：1階病棟 なじみの関係構築による患者の変化

優秀賞：総務課 送迎についてのアンケート調査を実施して

奨励賞：2階病棟 ARPによるレジリエンスの変化の考察
～「レジリエンスを学んでみた」～



〈教育委員会 院内学会担当:中村〉



平成30年



令和3年



令和6年 4月 1日撮影



平成31年



令和5年



病院の理念

- 「ひと」 その人らしさを大切に
- 「こころ」 こころのリハビリを通して
- 「和」 地域に和をひろげます

病院の基本方針

- 一、人権の尊厳 ころを病む方々の「ひと」としての尊厳を何よりも尊重し、患者さんやご家族に、やさしさと思いやりの心で接します
- 一、人間的成熟 医療にかかわるプロとしての自覚と誇りを忘れず人間的成熟を目指し、たゆまぬ努力を続けます
- 一、チーム医療 全ての職種の職員は、それぞれの専門性と役割を果たすと共に互いに連携し合い、より質の高い医療サービスを提供します
- 一、地域社会との連携 地域との情報交換を密にし、予防と安らぎの場を提供しながら、社会復帰を通じた生活活動支援に積極的に取り組みます

病院所在地 & アクセスマップ



医療法人社団 明心会
あおば病院
精神科・心療内科

〒869-0513
熊本県宇城市松橋町萩尾2037番地1
TEL : 0964-32-7772
FAX : 0964-32-7333
URL: <http://www.aoba-hospital.jp>

